

(仮訳)

2009年3月13日

バーゼル銀行監督委員会

バーゼル銀行監督委員会におけるメンバーの拡大について

3月10日 - 11日の会合において、バーゼル銀行監督委員会（バーゼル委）はメンバーを拡大し、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、韓国、メキシコ及びロシアを加えることを決定した。

バーゼル委議長であるウェリンク・オランダ中銀総裁は、「このメンバーの拡大により、世界で適用される監督実務及び基準の強化という、バーゼル委の中核的な任務を遂行する能力が強化されるであろう」と述べた。同議長は、また、この措置は、主要な基準設定主体はそのメンバーを見直すべきとする、G20首脳からの要請に応えるものでもあるとしている。バーゼル委のガバナンス主体には、これら新規に加入する機関の中銀総裁及び監督当局長官が加わることとなる。

バーゼル委は、銀行監督に関する定期的な協力の場を提供し、グローバルな監督実務及びリスク管理実務の強化を図っている。メンバーの拡大により、バーゼル委は、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、韓国、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ロシア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国及び米国から構成されることとなる。バーゼル委の事務局は、スイス・バーゼルの国際決済銀行に置かれている。